

Bobath Information Course in Osaka Kaisei Hospital

平成 22 年 2 月 27 日(土)、28 日(日)、大阪回生リハビリテーション研究会主催で、『脳卒中後遺症者へのボバースアプローチ』をテーマにインフォメーションコースを開催致しました。

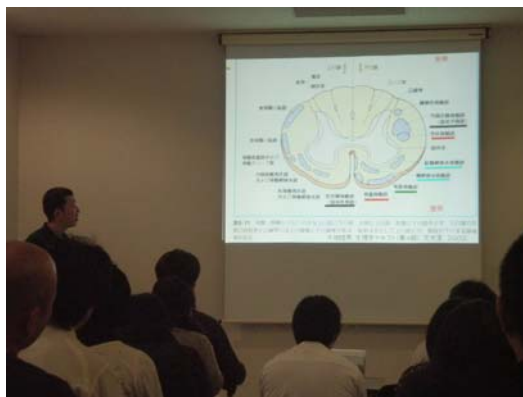
大変お忙しい中、誠愛リハビリテーション病院からボバース国際インストラクターの赤松泰典先生、ボバース記念病院からボバース国際インストラクターの土井鋭二郎先生にお越し頂き、ご教授頂きました。

当院の梅木による「姿勢筋緊張」、同じく当院の森による「姿勢運動コントロール」、誠愛リハビリテーション病院の赤松先生による「作業療法とボバースアプローチ」、を講義致しました。インフォメーションコースでは、患者様にもご協力頂き、講師 赤松先生、土井先生のデモンストレーションによる治療場面を見学しました。今回は赤松先生に上肢の治療を、土井先生に下肢の治療を中心に行って頂き、患者様のより Active な反応を引き出し、繊細な治療展開がとても印象的でした。

実技練習では、デモンストレーションでの患者様を想定して、受講生同士で評価、治療を行いました。受講生は 11 グループに分かれて赤松先生、土井先生、アシスタントの先生方にそれぞれ御指導頂きました。

印象としては、質疑応答がとても活発で、赤松先生、土井先生をはじめ、アシスタントの先生方には基礎から教えて頂き、大変充実した 2 日間となりました。

【講義風景】





【評価・治療のデモンストレーション風景】



【実技風景】



赤松泰典先生、土井鋭二郎先生、アシスタントの先生方、御協力頂きました患者様、全国各地から御参加下さいました受講生の皆様、本当に有難うございました。